

木曾105cmシュミット望遠鏡と2kCCDカメラによる 狭帯域撮像データの解析方法の再考

千葉,石井,西浦,柏木,三澤(東京学芸大)

- ・ 木曾観測所の105cmシュミット望遠鏡と2kCCDカメラ, 狭帯域/広帯域フィルターを使用, 近傍渦巻銀河NGC2903, M61の狭帯域撮像観測を行った。

連続光の作成について

- (A)狭帯域画像1枚を使用
- (B)狭帯域画像1枚と広帯域画像1枚を内挿
- (C)広帯域画像1枚を使用
- (D)広帯域画像2枚を内挿

4つの場合を比較！！

- ・ 輝線源の検出数
- ・ 同一輝線源に対する輝線強度

- ・ 連続光を最もよく再現できるのは(A)
- ・ 4つの方法のいずれも誤差は数%程度
- ・ また広帯域画像を連続光に使用した2例では連続光の再現性は(A)に劣るが1等級ほど暗い輝線源まで検出できる可能性
- ・ 検出数を優先するのであれば広帯域画像で連続光を再現した方が効率が良い